

新入社員 歩き遍路

四国霊場八十八か所を巡る「歩き遍路」を新入社員研修に採用した珍しい試みが県内で行われている。ベビー用品製造販売会社「コンビ」(本社・東京)の新入社員6人が16日に一番札所霊山寺(鳴門市)を出発。2泊3日の日程で、十二番札所・焼山寺(神山町)ま

東京の企業研修

で約50キロの険しい道のりを歩く。

お遍路を通じて心と体を鍛え、同社の企業理念でもある「人々の温かい触れ合いの場を広げる」「縁ある人々を大切にし、幸せを実現する」を自然に体験してもらおうのが狙いという。

今春入社した同社の新入社員らは、すげ笠をかぶり、

鳴門出発 2泊3日

白衣に輪袈裟けさを着て、金剛つえを持つ遍路姿で霊山寺の本堂をお参り。手の洗いや線香のあげ方などを教わり、緊張した表情でお経を唱えた。同寺を出発した後は、約17キロを歩き、初日の目的地の六番札所・安楽寺に到着した。

新入社員の一人、木村由佳さん(23)は「ずっと歩き通しで足が痛くなったが、地元の人に道を教えてもらったり、励まされたりして温かみを感じた。歩き遍路を通して忍耐力やコミュニケーション力がつくと思



霊山寺を出発する新入社員ら(16日、鳴門市で)

う」と話した。